

No.④	分類	3-(1)-イ	資料名	ゆめみたい	学年	1年	関連領域例	道徳科	A-(4) 個性の伸長
------	----	---------	-----	-------	----	----	-------	-----	----------------

1 ねらい

- 友だちと関わりながら、物事に挑戦し、粘り強く行おうとする態度を育てる。

2 趣旨

- 「周囲との関わりの中で自分の良さに気付くこと」は、自尊感情を形成する重要な要素である。
- 指導にあたっては、「わたし」の成長にあたって周囲の励ましがあつたことに気付きやすくするために役割演技をするが、その中で自然に励ましの言葉や温かい言葉を発すると予想されるので、そのような言葉を取り上げて、今後の生活の中で生かせるようにする。

3 配慮事項

- 指導時期や学級の実態に応じて、プール以外の場面を設定して資料を提示することも考えられる。
- 成長していく「わたし」だけでなく、周囲で温かく見守る友だちの立場で考える児童の思いに寄り添って、誰の立場で考えても認めるようにしたい。
- キャリア教育の「課題対応能力」の観点
 - 1 自分でできることに目を向け、取り組めるようにする。
 - 2 生活や学習上の課題を見つけ、見通しをもって自分の力で解決できるようにする。

4 展開例

学習内容	指導上の留意点
1 苦手なことや今がんばっていることについて出し合う。 2 教材を読み、「わたし」の思いについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">昨日の「わたし」はどうしてなみだをながしたのでしょうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の経験を出し合うことで、苦手なことや難しいことは誰にでもあることを認め合い、教材につなげる。
○昨日の「わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水がいやだ。 ・ 水がこわい。 ・ じょうろでもいやだ。 ・ もぐれるようになりたいけど…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の流れや状況がつかみやすいように、ゆっくりと範読する。 ・ 昨日まで水をこわがっていた「わたし」が、今日やっともぐれたということをおさえる。
3 役割演技をして「わたし」の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「わたし」は、どんなことを考えて、いきをいっぱいすつてもぐったのでしょうか。</div>	
○もぐろうとする「わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ いやだな…。 ・ こわいな…。 ・ でもこのままじゃ…。 ・ みんなと一緒にならできるかな。 ・ なんだか勇気がわいてきた。 ・ やってみよう。 ○励ましてもらった「わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ うれしい。 ・ あきらめない気持ちが出た。 ・ がんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演技を通して、もぐろうとした時や励ましの言葉をかけてもらった時の気持ちに引き出す。 ・ 「もぐれそうなきがしてきた」理由を問うことで友だちとの関わりに目を向けさせる。 ・ 挿絵を手がかりに、どきどきしている中で、勇気付けられている「わたし」の様子を想像させる。 ・ 「どきどき」しながらもぐった様子を想像させ、様々な思いがあり、迷いながらも挑戦した「わたし」の思いに寄り添わせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして「わたし」は、なみだが出そうになったのでしょうか。</div>	

<p>○もくれた「わたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐれてうれしい。 ・すごいでって言ってきててうれしい。 ・ありがとう。 ・みんなが応援してきててもくれたから。 ・がんばってよかった。 <p>4 これから挑戦したいことを聞き合 う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ わたしの喜びの背景に友だちの温かいまなざしがあったことに目を向けさせ、周りの人との関わりの中で成長していくことができることに気付かせる。 ・ 昨日と今日の「なみだ」の違いをおさえ、目の前のことに対して一生懸命がんばった喜びを感じられるようにする。 ・ 「ゆめみたい」と言った「わたし」の思いを考えることで、がんばった自分を誇りに思う気持ちにつなげられるようにする。
	<p>これからどんなことに挑戦したいですか。 もっとがんばりたいと思っていることを伝え合ひましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流を通して、これからも自分なりにやるべきことをしっかり行おうという思いを高められるようにする。

5 参考 原典「ひょうご 09 こどもの詩と絵 第30集」(1年生作品 改作)